

五小っ子

平成30年度 学校便り第13号 (9月21日)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**
『生命を大切にし、進んで学ぶ
心身ともにたくましい子どもを育成する』
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

お彼岸 「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉の通り随分過ごしやす季節になりました。皆様、元気でお過ごしのことと存じます。

昨日が彼岸の入りで、明後日は秋分の日です。春の「春分の日」と秋の「秋分の日」は、昼間の時間と夜の時間がほぼ同じになる日です。この「秋分の日」が過ぎると、少しずつ暗くなるのが早くなります。秋の夜長というのもここからきています。

この「秋分の日」を彼岸の中日と言い、前後の3日間を合わせた一週間を「お彼岸」と呼びます。今年でいうと20日（木）から26日（水）がお彼岸の期間ということになります。

今の自分が生かされている事を祖先に感謝することでおだやかな心を保つという日本独特の文化がお彼岸に残っています。

明日からの三連休、夕食後にテレビを消して虫の音を聴きながら秋の夜長に「親子で読書」もいいですね。

何よりも安全に気をつけてお過ごしください。



追伸 1年生の教室でこんな話をしました。「勉強が上手になるためのヒミツ」があるよ。それは、毎日鉛筆を自分で削ってくることです。筆箱の鉛筆全部を削ってくるのです。

理由があります。

『鉛筆を削ると気持ちが変わります。どの鉛筆を持っても気持ちよく書けます。

勉強に対する意気込みが違ってくるのです。また、毎日続けることで根気強さも身につけて一石二鳥なのです。

簡単なようですが・・・皆さん出来ますか？』



ひがんばな
村のまつりは
夏のことろ
ひるまも花火を
たきました
秋のまつりは
となり村
日がさのつづく
うらみちに
地面（じべた）のしたに
すむひとが
線香（せんこ）花火を
たきました
あかい
あかい
あかい
ひがんばな
金子 みすゞ



また行きたい！！

5年生の大きな行事の一つが宿泊体験学習です。

9月19日から諫早少年自然の家で1泊2日の日程で行ってきた子どもたちの声を感想から拾ってみました。成長の跡を感じることが出来ます。



私は張り切って宿泊学習に出発しました。ですが、沢登りの前に熱が出て残念ながらできませんでした。次の日はすっかり治りました。野外炊飯の準備をしていると、すごい雨がふってきました。大変だったけど、ちゃんと焼きそばを作ることができました。宿泊学習が楽しくなって良かったです。また行きたいです。(川田さん)

・ 宿泊学習で学んだことは、「責任」「仲間づくり」「あいさつ」の大切さです。野外炊飯もみんな協力して作ればおいしいという事がわかりました。まきわりもすぐに覚えました。(重松くん)

・ 宿泊学習で楽しかったことは沢登りです。理由は、登るのが苦手な人をみんなでサポートしたり、今まであまりしゃべらなかった人と学校の話とかを楽しくしゃべれたりしたからです。とても思い出に残る宿泊学習でした。(立光さん)

・ 宿泊学習の思い出が二つあります。一つ目は沢登りです。岩や石がとても滑りやすく怖かったです。滑って転んだ人もいましたが、無事にゴールできて良かったです。二つ目は野外炊飯です。雨でしたが、焼きそばを作ることができました。みんなと協力したから味もバッチリで良かったです。とてもいい思い出になりました。(彩夏さん)



・ 沢登りでは、水の深い所に入った時、気をつけて歩きました。手をつないで友達に引っ張ってもらったり、引っ張って助けたりしました。友達は優しいなと思いました。これからは、僕が返してあげようと思いました。(伯川くん)

・ 永田校長先生が言った「思いっきり楽しむ」事ができたので嬉しかったです。班長会議では、先生の話の良く聞く事ができました。みんなをまとめるのは難しかったけど良い経験になりました。(宮崎くん)

～引率者談(坂本教頭)～

初日、各班ごとに力を合わせて挑むイニシアティブゲームでは、ミッションをクリアする度に大きな歓声が、沢登りでは、水に浸かる度に悲鳴が聞こえていました。いずれも表情はとても生き生きとしていました。2日目、大雨の中での野外炊飯となりましたが、火起こしから作り上げた焼きそばの味は格別だったようです。自然を満喫した2日間でした。

※学校HPからカラー版を見ることが出来ます。(5sho.netで検索)